

UNI-PEX

取扱説明書

一斉式非常放送設備

DEA-0605

DEA-0305

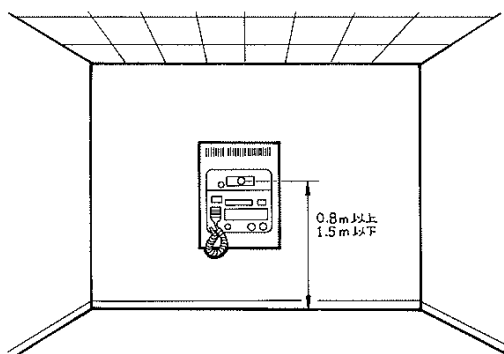


このたびは、一斉式非常放送設備をお買いあげいただき誠にありがとうございました。
本機の性能を十分発揮され、正しくご利用いただくためお使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、後日わからないことや故障などが生じたときのため、この取扱説明書は必ず保存してください。

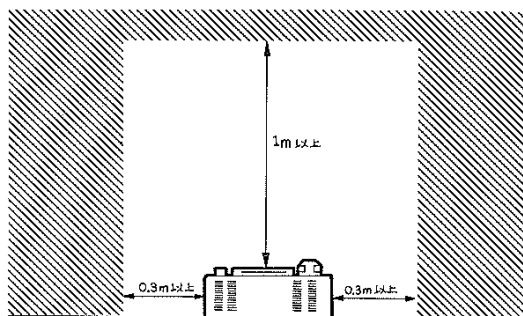
目 次

設置・使用上のご注意	1
各部の名称と説明	2～3
通常の業務放送のしかた(本機のマイクを使用の場合)	4
通常の業務放送のしかた(外部マイクを使用の場合)	4
通常の業務放送のしかた(テープレコーダやレコードプレーヤなどの放送のしかた)	4
非常放送のしかた	5
非常放送のしかた(自火報と連動している場合)	6
非常電源遮断ユニット(別売)について	7
別売オプションユニットを組込まれるお客様へ	7
点検方法	8
常に点検してください。(日常点検)	8
定格	9
外観寸法図	9

設置・使用上のご注意



- 本機の取り付け高さを変えないでください。
消防法で床から0.8メートルから1.5メートルの範囲内と定められています。
この高さは必ずお守りください。



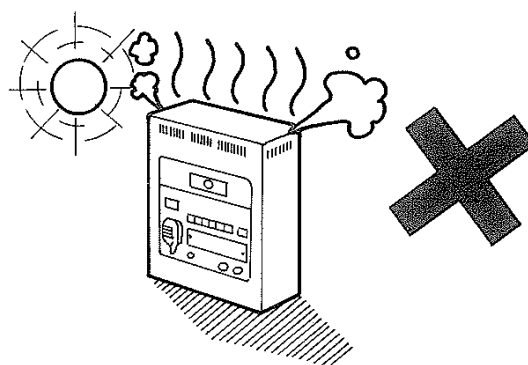
- 本機の周囲に物を置かないでください。
日常業務はもちろん、非常時の操作の妨げにならないように本機の周囲に物を置かないでください。

- 施工、工事に関しては消防法技術基準及び電気設備基準に従ってください。

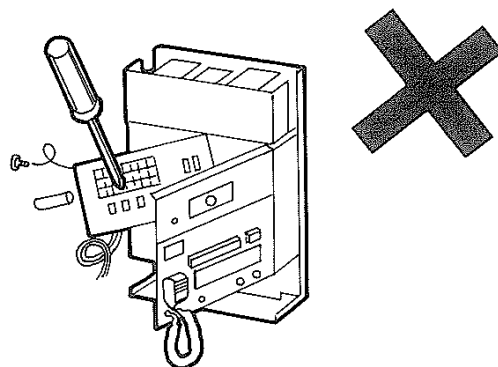
- 設置、施工に関し、関係法令、諸手続きについては最寄りの消防官庁の指導をお受けください。

- 本機は非常放送及び呼び出し、伝達案内、ミュージックサービスなど一般放送設備です。特殊用途にはお使いにならないでください。

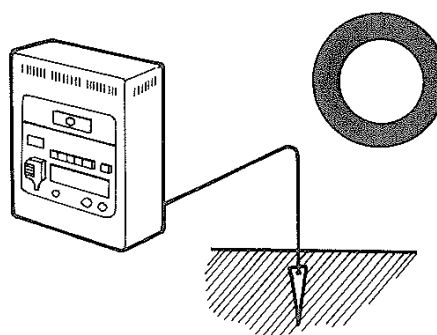
- 本機を設置後は定期的に保守点検をおこなわなければなりません。
消防設備点検資格者に依頼してください。



- 温度の高いところ、湿度の多い場所での使用は避けてください。



- 本機の改造はできません。
この商品は消防法による認定品ですから絶対に改造しないでください。



- アース端子は必ず地面に接地してください。ガス管や水道管には絶対に接続しないでください。

各部の名称と説明 1

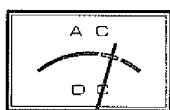
☐ 内の名称と説明は非常放送に必要な項目です。

充電中表示灯

蓄電池が充電されている状態になっていることを示すもので、緑に点灯している場合は正常です。
常時、点灯していることが必要です。

主回路電源電圧計

非常電源と主電源の電圧を示します。緑色を示していれば正常な電圧です。(蓄電池電圧計と兼用です)



非常放送マイク

ご使用のときは上部に引き抜いてください。

マイク放送スイッチ

このスイッチを押せばマイク放送ができます。放送中は常時、押してください。

呼び出しなどの業務放送にも使用できます。

モニタスピーカ(内蔵)

外部マイクとライン入力機器及びオプションで組込まれた業務用ユニットがモニタできます。
(非常放送マイクはモニタされません)

作動表示灯

この表示灯に対応するスピーカ回線が動作しているか、どうか緑に点灯し、表示されます。

モニタ音量調節ツマミ

三段階に調節できます。

スピーカ回線選択スイッチ

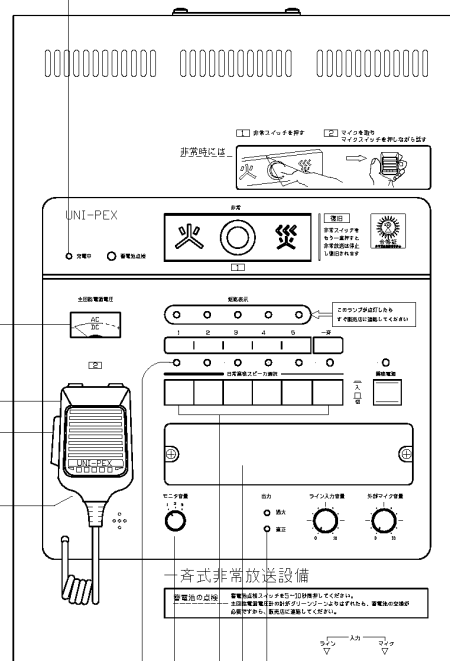
いずれかを押すと対応するスピーカ回線のみ動作します。
対応する作動表示灯が点灯し、確認できます。

業務用オプションユニット組込部

必要に応じ別売のユニットを組込むことができます。

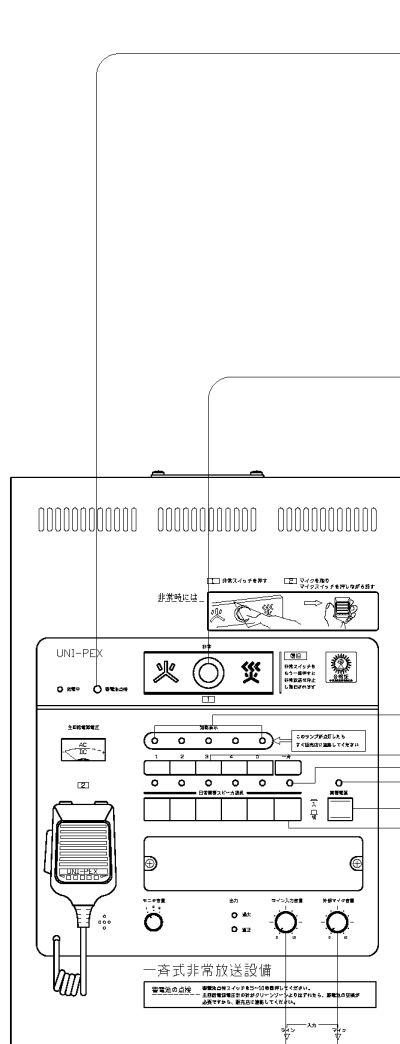
出力表示灯

瞬間的に過出力表示の赤が点灯する以外は常に緑点灯範囲になるように音量調節してください。



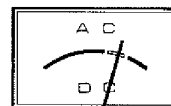
各部の名称と説明 2

☐ 内の名称と説明は非常放送に必要な項目です。



蓄電池点検スイッチ

このスイッチを押すと、蓄電池の電圧が表示されます。
緑色を示せば正常です。



非常起動スイッチ

火災発見のときは、このスイッチを押してください。
警報音(サイレン)が鳴動します。
呼び出しなど一般業務放送はすべて停止します。

短絡表示灯

スピーカ回線が短絡した場合は、赤に点灯します。
(放送中に限ります。)

回線別表示部

付属のタックシールに回線別に放送個所を記入し、それぞれ貼ってください。

一斉表示灯

一斉放送スイッチを入れますと橙に点灯します。

業務電源表示灯

業務電源スイッチを入れますと赤に点灯します。

業務電源スイッチ

押してください。再び押せば切れます。

一斉放送スイッチ

押すと全スピーカに放送され作動表示灯が全部点灯します。
スピーカ側で音量を下げていたり、停止状態でも放送できます。

外部マイク音量調節ツマミ

本機底面に入力ジャックがあります。

ライン入力音量調節ツマミ

本機底面に入力ジャックがあります。

(番号順に操作してください。)

UNIS-PREX

火 送

① ②

③

一斉非常放送設備

注. 絶対に押さないように

① 一斉放送の場合

② 個別放送の場合

一斉放送の場合

個別放送の場合

③マイクをはずし、マイクスイッチを押しながら放送します。
マイクの音量は常に一定しています。

注.
絶対に押さないように

① 底面外部マイク入力ジャックへ

② 斉放送の場合

③ 個別放送の場合

④ 火

⑤ 非常放送機

一斉放送の場合

個別放送の場合

放送内容がモニタできます。

⑥モニタ音量ツマミは3段階に音量を切換えることができます。
本機のそばで外部マイクを使用の場合はモニタ音量を大きく
するとハウリングが起きることがあります。ご注意ください。

① 底面ライン入力ジャックへ

② 停止

③ 一斉放送の場合

③ 個別放送の場合

④ 再生

⑤ リモコン

⑥ テープカウンタ

⑦ テープ送り出し・巻き戻し

注. 絶対に押さないように

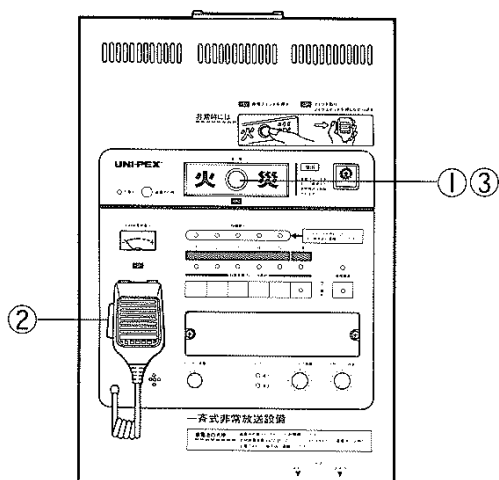
一斉放送の場合

個別放送の場合

放送内容がモニタできます。

⑥モニタ音量ツマミは3段階に音量を切換えることができます。

非常放送のしかた (番号順に操作してください)



火災発生

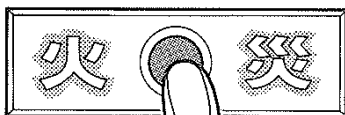


発見



①

「火災」の文字が赤く点灯する

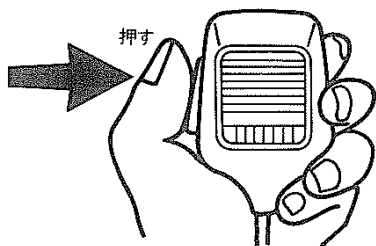


非常起動スイッチを押す

火災発見の際、まず非常起動スイッチを押します。
火災の文字が赤く点灯、作動表示灯、一斉表示灯、業務
電源表示灯も点灯し、サイレンが鳴ります。



②



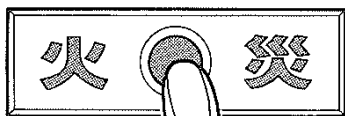
マイクをはずし、マイクスイッチを押しながら放送しま
す。

(マイクスイッチを押しているあいだは、サイレンが止ま
り、マイクからの非常放送ができます。)

マイクの音量は常に一定しています。



③



非常起動スイッチを押す

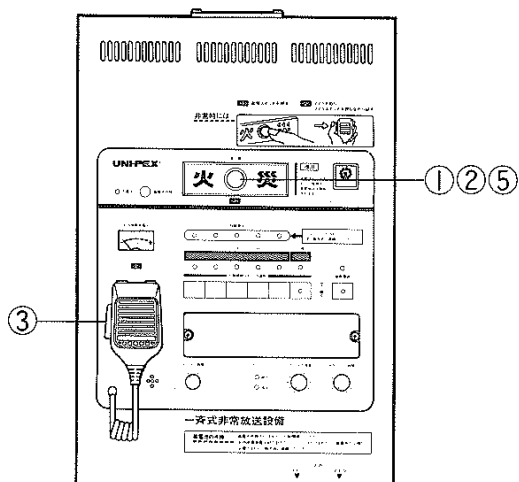
非常放送が終わったら、再び非常起動スイッチを押してく
ださい。

サイレンが止まり、もとの状態にもどります。

(非常放送解除)

自動火災報知機(自火報)と連動して、ご使用のお客様へ

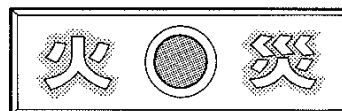
自火報のベルが鳴った場合



火災発生

①

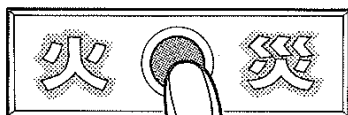
「火災」の文字が赤く点灯する



①非常起動スイッチを押さなくても自動的にサイレンが鳴ります。(自火報のベルとサイレンが同時に鳴動)

②

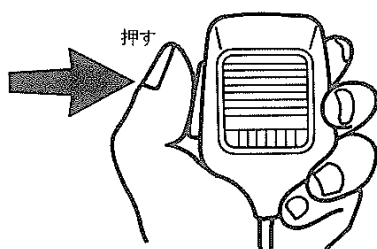
「火災」の文字が赤く点灯する



非常起動スイッチを押す

②マイク放送の前に、まず非常起動スイッチを押します。

③



③マイクをはずし、マイクスイッチを押しながら放送します。

(マイクスイッチを押しているあいだはベルとサイレンが止まり、マイクからの非常放送ができます。)

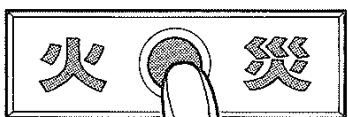
マイクの音量は常に一定しています。

④

自火報を操作しベルを止める

④設置してある自火報の操作に従ってください。

⑤



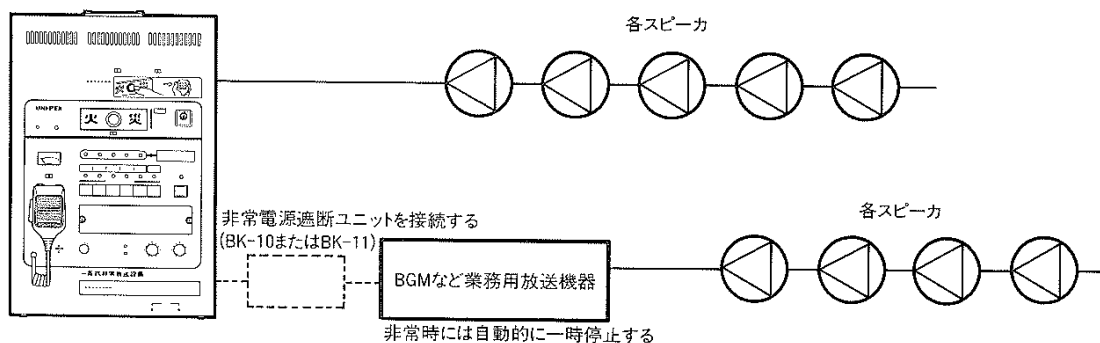
非常起動スイッチを押す

⑤自火報のベルを止めてから、非常起動スイッチを押します。サイレンが止まり、もとの状態にもどります。

(非常放送解除)

本機の他に、業務用放送機器をご使用なられるお客様へ

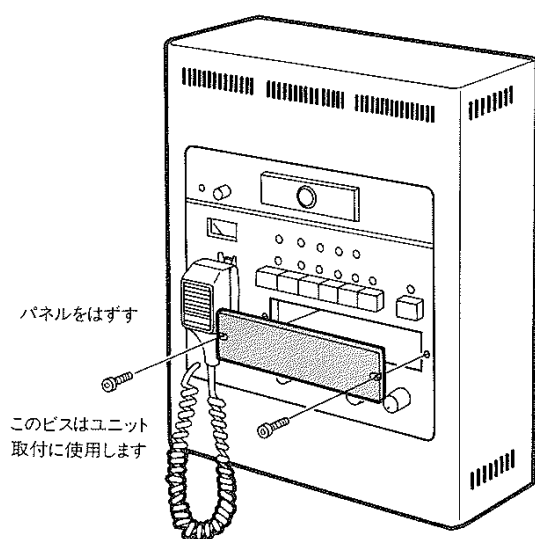
非常電源遮断ユニット(別売)について 工事店、販売店にご相談ください。



本機の他に業務用放送機器を使用しますと、緊急時に業務用放送のBGMなどのため、非常放送の内容が聞きとれない場合があります。そのような事態を防ぐため、別売の非常電源遮断ユニット(BK-10, BK-11)を図のように接続してください。非常放送時には業務用放送機器を自動停止させることができます。また、非常放送が終了し、非常放送が解除しますと業務用放送機器よりの放送は自動的に復旧します。

別売のオプションユニットを組込まれるお客様へ

①

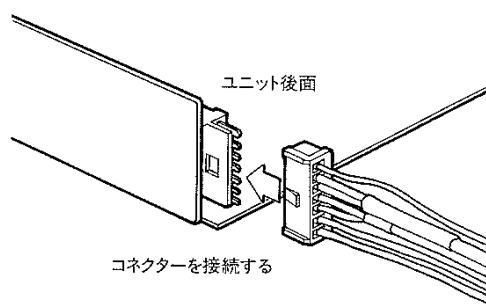


別売オプションユニット

- AMラジオチューナユニット ●AM/FMラジオチューナユニット
- カセットテーププレーヤユニット

(ラジオチューナユニットはアンテナ取付工事が必要です。販売店にご相談ください。)

②



- ①オプションユニット組込部のパネルをはずします。内部に7Pコネクタと5Pコネクタがあるのでコードを傷つけないように取出してください。
- ②ユニット後面のコネクタに適合するコネクタを接続してください。7Pコネクタはラジオチューナユニットとカセットプレーヤユニットの接続用、5Pコネクタは今後発売予定新ユニットの接続用です。
- ③ユニットをユニット組込部に格納し、パネルをはずしたビスで固定してください。

ご注意!!

使用しないコネクタはビニールテープなどで巻き、ユニットと一緒に格納してください。その時はそれぞれのコードをユニットにはさみこまないようにご注意ください。

点検方法 (業務放送関係)

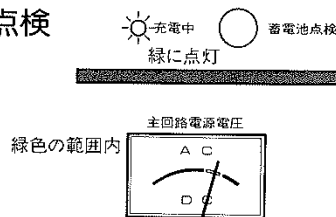
ほんのちよつとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。

次の要領で点検してください。非常放送関係は、次項の「常に点検してください」を参照してください。

症 状	主な原因と点検	処 置
マイクの音がでない (非常放送マイク または外部マイク) (非常放送マイクの場合) (外部マイクの場合)	業務電源スイッチが入っていますか。	押し入れてください。
	スピーカ回線選択スイッチまたは一斉放送スイッチを押していますか。	希望のスイッチを押してください。
	マイク放送スイッチを押していますか。	押しながら放送してください。
	外部マイク音量調節ツマミをまわしていますか。	右にまわし、音量をあげてください。
	外部マイク入力ジャックにプラグがきちんと差し込まれていますか。 マイクのスイッチは入っていますか。	確認してください。
モニタができない (非常放送マイクの場合)	できません。	できない設計になっています。
モニタの音量が小さい (外部マイクの場合)	モニタ音量調節ツマミが1位置です。	2または3位置にしてください。
組込んだユニットの音がでない	そのユニットの音量調節ツマミをまわしていますか。	右へまわし、音量をあげてください。
	そのユニットの後部のコネクターがはずれていませんか。	今一度、確認してください。 (必ず業務電源スイッチを切ってからしてください)
ライン入力に接続した機器の音がでない	ライン入力音量調節ツマミをまわしていますか。	右にまわし、音量をあげてください。
	ライン入力ジャックにプラグがきちんと差し込まれていますか。	確認してください。
	その機器の電源スイッチは入っていますか。	
	その機器のボリュームはあがっていますか。	

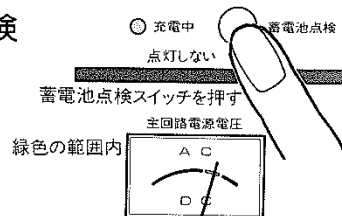
常に点検してください(日常点検)

●充電状態の点検



充電中表示灯(緑)が点灯し、電圧計の指針も緑色の範囲を示していれば、AC100Vの電圧が正常に送り込まれており、充電状態も正常です。

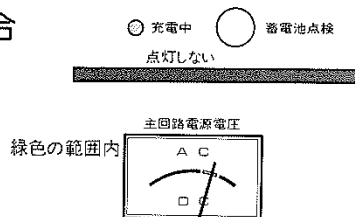
●蓄電池の点検



蓄電池点検スイッチを押した状態で電圧計の指針が緑色の範囲を示していれば、蓄電池の電圧は正常です。点検スイッチを押している間は、充電中表示灯は点灯しません。

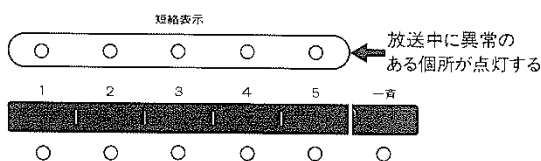
注)点検スイッチを押し続ける時間は5~10秒間にしてください。

●停電した場合



充電中表示灯は消えます。しかし電圧計の指針が緑色の範囲を示していれば正常な動作です。

●短絡表示灯について



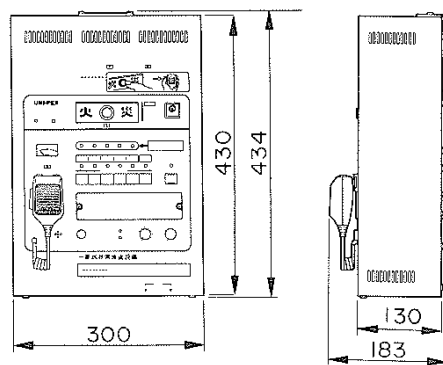
放送中(非常・業務)に短絡表示灯が赤に点灯していなければ異常ありません。放送中は常に確認してください。(赤に点灯する個所には異常があります。)

上記の点検で異常が発見されれば、ただちに販売店、保守契約店にご連絡ください。

定格

DEA-0605		DEA-0305	
使用電源	AC 100V 50/60Hz DC 24V (停電時且つ非常放送時)		
消費電力	AC 157W DC 117W	AC 83W DC 69W	
消費電流	AC 1.87A DC 4.5A	AC 0.9A DC2.4A	
出力	定格 60W 最大 100W	定格 30W 最大 50W	
出力負荷インピーダンス	170Ω (100V ライン) 平衡	330Ω (100V ライン) 平衡	
ひずみ率	2%		
周波数特性	50Hz～15kHz 偏差±3dB (ライン入力において)		
入力感度及びインピーダンス	マイク：－62dBV 600Ω 不平衡(平衡トランス取付可)音量調節器付 ライン：－22dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付 リモコン：－2dBV 600Ω 不平衡(平衡トランス取付可)レベル半固定内蔵 ユニット：－22dBV 10kΩ 不平衡		
信号対雑音比	60dB (組込ユニットを除く)		
非常用操作部及び出力制御部			
動作表示	回線別表示：発光ダイオード 緑 一斉表示：発光ダイオード 橙 短絡表示：発光ダイオード 赤 出力定格内表示：発光ダイオード 緑 出力定格以上表示：発光ダイオード 赤 充電中表示：発光ダイオード 緑 電源電圧：メータ 火災灯：発光ダイオード 赤		
警報音周波数	400Hz～1000Hz 周期5秒 (非常用放送設備委員会標準音)		
非常放送マイク	非常/業務兼用入力感度 －46dBV インピーダンス 600Ω 不平衡 ALC付		
出力制御	業務：5回線 + 一斉 (手動) 非常：一斉 自火報連動：一斉		
外部制御	非常起動入力：(メイク接点受信) ……自火報 電源起動入力：(メイク接点受信) ……電源入、一斉制御 非常接点：(常時 DC24V 100mA送り、非常時断) ……ローカル制御 E B 接点：(無電圧メイク接点 1A) ……自火報地区ベル断		
モニタスピーカ	6.5cm パーマネントダイナミック型 アッテネータ付		
非常電源部			
蓄電池	三洋電機製 円筒密閉形 ニッケル・カドミウム蓄電池 20N-1800C ユニベックス品番 NBT-1800	三洋電機製 円筒密閉形 ニッケル・カドミウム蓄電池 20N-1200SC ユニベックス品番 NBT-1200	
容量	DC 24V 1800mAh/5HR	DC 24V 1200mAh/5HR	
持続時間	定格出力時 10分以上		
充電方式	トリクル充電		
充電時間	48時間		
充電電流	約60mA	約40mA	
使用温度範囲	－10℃ ～ ＋40℃		
寸法	幅 300mm 高さ 430mm 奥行 130mm (突起物を除く)		
重量	約 11.7kg (蓄電池を除く)	約 10.2kg (蓄電池を除く)	
付属品	ヒューズ 0.5A 2	ヒューズ 0.2A 2	
適合ユニット	2極大形単頭プラグ 1、回線表示紙 1、保証書 1、取扱説明書 1、操作説明書 1、工事説明書 1、取付用型紙 1 AMラジオチューナユニット AM/FMラジオチューナユニット オートリバースカセットプレーヤユニット		

外観寸法図



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニベックス株式会社

RKTDEA0605

UNI-PEX

工事説明書

一斉式非常放送設備

DEA-0605

DEA-0305



工事店様へ

工事の前にこの説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。また、工事終了後は、取扱説明書とともに御客様に御渡しください。

お客様へ

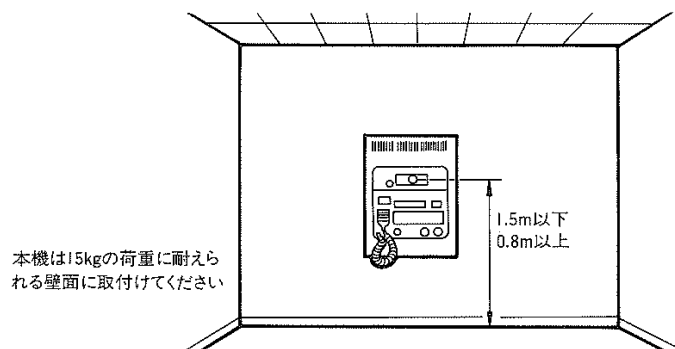
工事終了後も取扱説明書とともに大切に保管してください。

目次

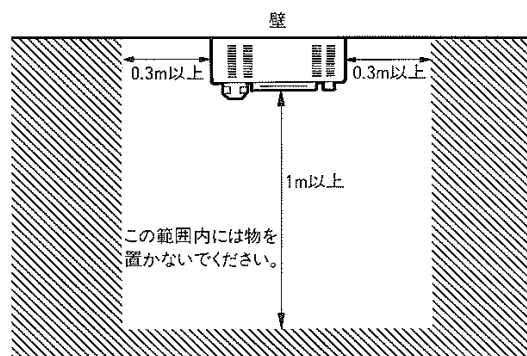
設置上のご注意	1
各接続線について	1
各部の名称と説明	2~3
設置のしかた	4
本体の取付	4
スピーカ線の配線	5
入出力端子の接続	5
電源の接続	6
アンテナ及びアースの接続	6
平衡トランスの取付方法	6
メインブロックの取付	7
蓄電池の取付	7
取付完了後の点検(設置時、非常放送、その他)	7
取付完了後の点検(蓄電池)	8
蓄電池の交換について	8
保守点検について	8
定格・外観寸法図	9

設置上のご注意

取付の高さ（消防法で決められていますので必ず守ってください）



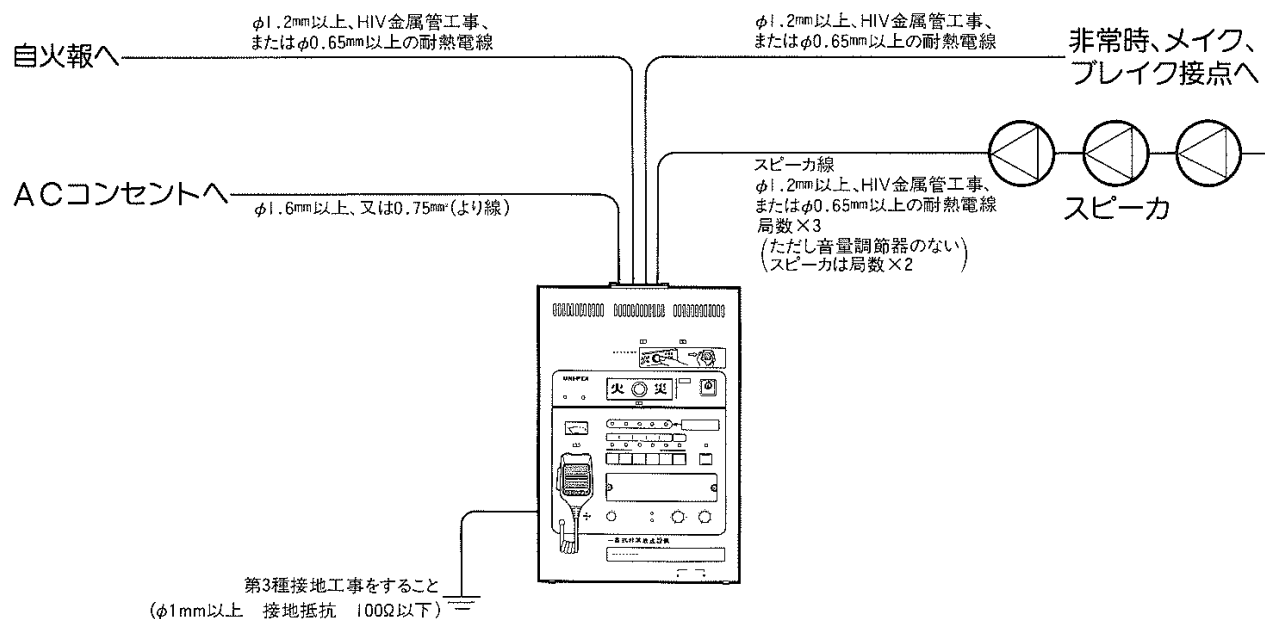
設置の周辺



- 本機と自火報（自動火災報知器）を接続しない場合は自火報受信機、または副受信機と同一室内に設置してください。
- 本機には電源用ケーブルは付属していません。別途にご用意ください。
- 別売のラジオチューナユニットを取付ける場合は、あらかじめアンテナの配線をしてください。
- 本機は認定品ですので絶対に改造しないでください。
- 設置については落下などがないように十分な強度の取付をしてください。

各接続線について

接続線は下図を参考にして用意していただくようお願いいたします。



各部の名称と説明 1

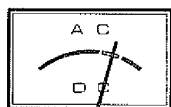
☐ 内の名称と説明は非常放送に必要な項目です。

充電中表示灯

蓄電池が充電されている状態になっていることを示すもので、緑に点灯している場合は正常です。
常時、点灯していることが必要です。

主回路電源電圧計

非常電源と主電源の電圧を示します。緑色を示していれば正常な電圧です。(蓄電池電圧計と兼用です)



非常放送マイク

ご使用のときは上部に引き抜いてください。

マイク放送スイッチ

このスイッチを押せばマイク放送ができます。放送中は常時、押してください。

呼び出しなどの業務放送にも使用できます。

モニタスピーカ(内蔵)

外部マイクとライン入力機器及びオプションで組込まれた業務用ユニットがモニタできます。
(非常放送マイクはモニタされません)

作動表示灯

この表示灯に対応するスピーカ回線が動作しているか、どうか緑に点灯し、表示されます。

モニタ音量調節ツマミ

三段階に調節できます。

スピーカ回線選択スイッチ

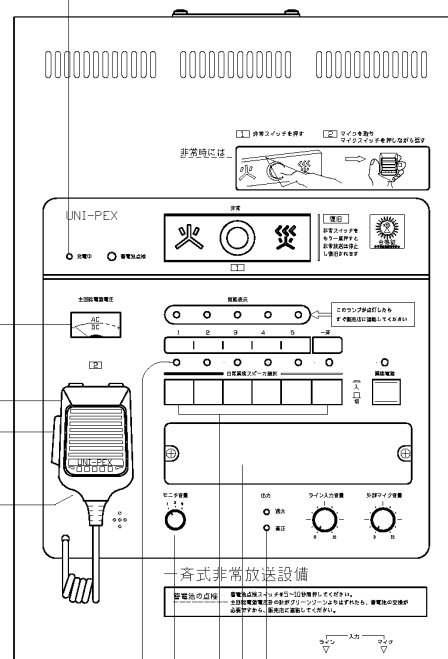
いずれかを押すと対応するスピーカ回線のみ動作します。
対応する作動表示灯が点灯し、確認できます。

業務用オプションユニット組込部

必要に応じ別売のユニットを組込むことができます。

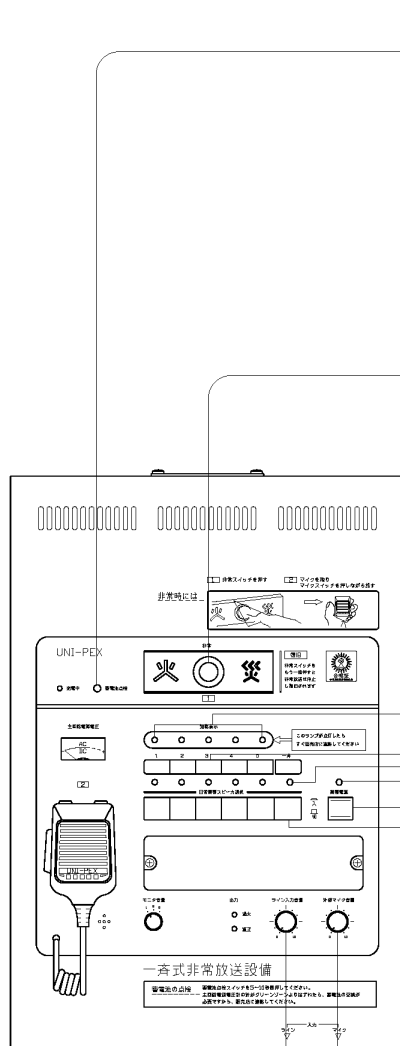
出力表示灯

瞬間的に過出力表示の赤が点灯する以外は常に緑点灯範囲になるように音量調節してください。



各部の名称と説明 2

☐ 内の名称と説明は非常放送に必要な項目です。



蓄電池点検スイッチ

このスイッチを押すと、蓄電池の電圧が表示されます。
緑色を示せば正常です。



非常起動スイッチ

火災発見のときは、このスイッチを押してください。
警報音(サイレン)が鳴動します。
呼び出しなど一般業務放送はすべて停止します。

短絡表示灯

スピーカ回線が短絡した場合は、赤に点灯します。
(放送中に限ります)

回線別表示部

付属のタックシールに回線別に放送箇所を記入し、それぞれ貼ってください。

一斉表示灯

一斉放送スイッチを入れますと橙に点灯します。

業務電源表示灯

業務電源スイッチを入れますと赤に点灯します。

業務電源スイッチ

押してください。再び押せば切れます。

一斉放送スイッチ

押すと全スピーカに放送され作動表示灯が全部点灯します。
スピーカ側で音量を下げていたり、停止状態でも放送できます。

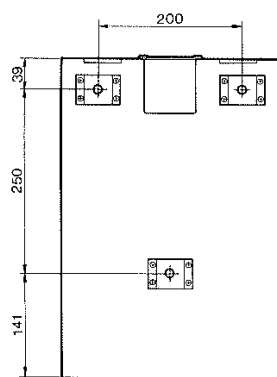
外部マイク音量調節つまみ

本機底面に入力ジャックがあります。

ライン入力音量調節つまみ

本機底面に入力ジャックがあります。

設置のしかた



①取付位置を決めてください。

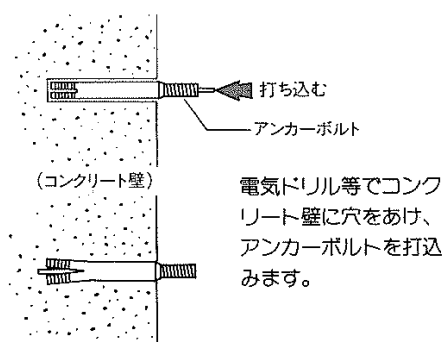
付属の型紙を高さ定位線が800～1,500mmのところにくるように壁に張付けます。

②型紙に合わせて3カ所の取付用穴をあけ、アンカーボルトを打込みます。

アンカーボルトを使用できないようなところには木ねじを使用します。

●荷重15kgに耐えられる壁に取付けてください。

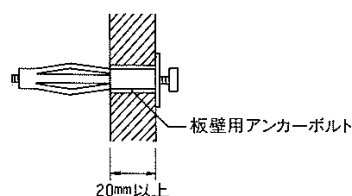
コンクリート壁に取付ける場合



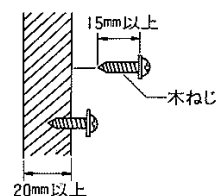
板壁などに取付ける場合

- 木造やボード製の間仕切り程度に使用されている壁などの取付けは避けてください。
- しっかりした柱や板厚が20mm以上の板壁を使用してください。

板壁用アンカーボルト使用

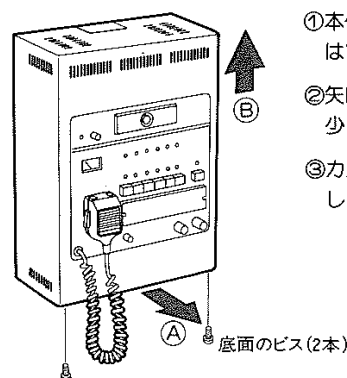


木ねじを使用



本体の取付

1

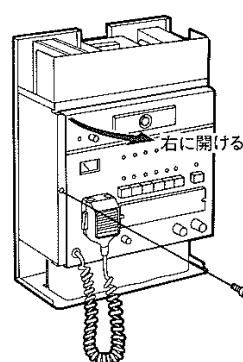


①本体底面手前の2本のビスをはずします。

②矢印Aの方向にカバー底部を少し持ち上げます。

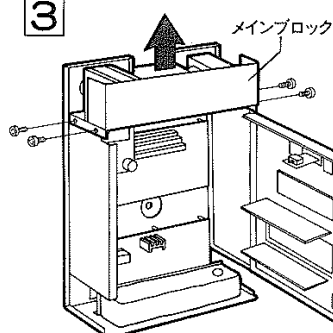
③カバーを矢印Bの方向にはずします。

2



操作パネル左端中央のビス1本をはずし、パネルを右に開けます。

3

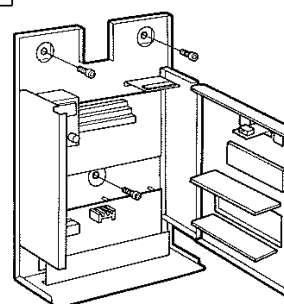


①メインブロックを止めている左右各2本のビスをはずします。

②メインブロックからの中継コネクタ5個をはずします。

③メインブロックを矢印の方向へ取りはずします。

4



型紙で取付位置を決めたところに図のようにアンカーボルトまたは木ねじなどでしっかり固定します。

スピーカ線の配線

品 番	DEA-0605	DEA-0305
1回線あたりの最大W数	50W	20W
5回線の合計W数	60W	30W

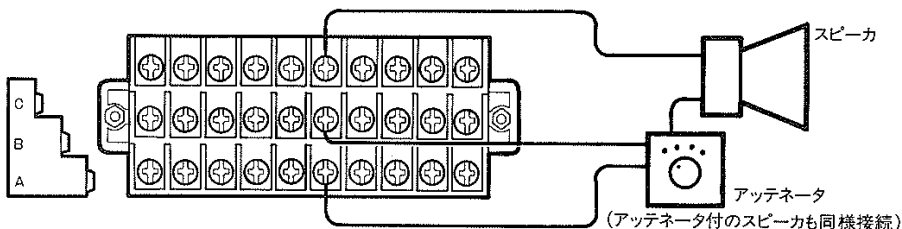
系統別に放送する場合

注) アッテネータ付スピーカを使用する場合は、必ず3線式配線をおこなってください。

●3線式

端子表示

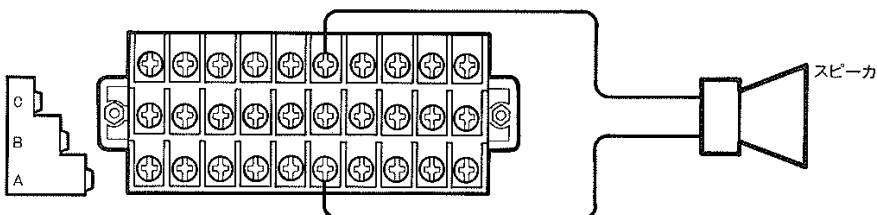
マイク入力	ライン	C	スピーカ出力
H C E	H C	1 2 3 4 5	
非常接点	リモコン入力	R	
DC24V COM	H C E	1 2 3 4 5	
EB端子	一斉	自火報	
	入力	COM 起動	1 2 3 4 5



●2線式

端子表示

マイク入力	ライン	C	スピーカ出力
H C E	H C	1 2 3 4 5	
非常接点	リモコン入力	R	
DC24V COM	H C E	1 2 3 4 5	
EB端子	一斉	自火報	
	入力	COM 起動	1 2 3 4 5



入出力端子の接続

外部マイク接続端子

マイクを接続します。

本機底面のマイク入力ジャック（不平衡の場合は、HとCを接続）本機底面のマイク入力ジャックのマイクが優先します。

非常接点端子（+24V 100mA送り）

本機の他にアンプなどの機器がある場合に非常用電源遮断ユニットBK-10/BK-11と接続します。
本機の非常放送時には他のアンプなどの機器は自動的に停止します。

マイク入力	ライン	C	スピーカ出力
H C E	H C	1 2 3 4 5	
非常接点	リモコン入力	R	
DC24V COM	H C E	1 2 3 4 5	
EB端子	一斉	自火報	
	入力	COM 起動	1 2 3 4 5

EB端子

自火報受信機と接続します。非常放送時には自火報のベルを停止させることができます。

一斉入力端子

リモートマイクRM-11/RM-15の一斉起動端子と接続します。リモートマイク側の操作で本機の業務放送用電源の入切ができます。

ライン入力端子

テープレコーダなどを接続します。
本機底面のライン入力ジャックの機器が優先します。

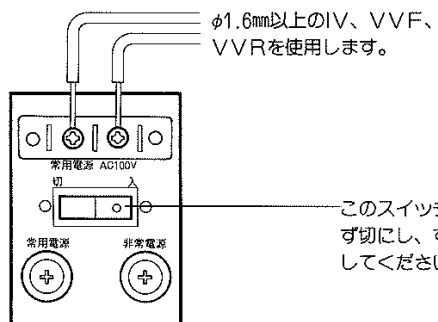
リモコン入力端子

リモートマイクRM-11/RM-15を接続します。

自火報起動端子

自火報が動作すれば本機のサイレンも同時に鳴ります。
その後は、取扱説明書の「自火報のベルが鳴った場合」の項に従ってください。

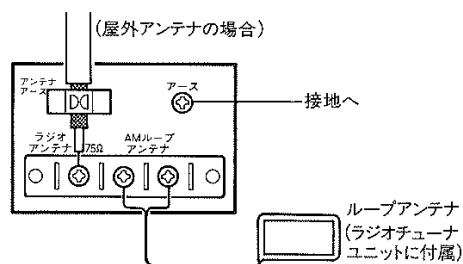
電源の接続



- 電源容量は10A以上の専用回路を使用します。
- 接続は、じか接続又は抜け止めコンセントを使用します。
- ブレーカ等に「非常用」の表示をしてください。

このスイッチは各種の配線工事のときは必ず切にし、すべての工事が終了したら入にしてください。

アンテナ及びアースの接続

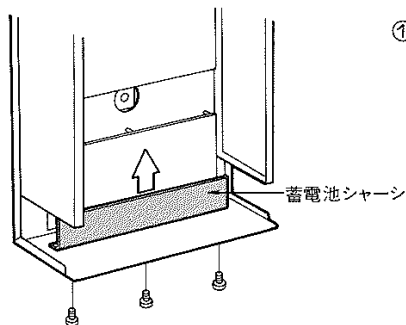


別売のラジオチューナユニットを組み込む場合は、あらかじめアンテナを接続しておいてください。

- ラジオチューナユニットに付属しているループアンテナを図のように接続し、本機の近くに設置します。
- 屋外アンテナを使用の場合は、同軸ケーブルを図のように接続します。
- アースは必ず第3種接地工事をしてください。
($\phi 1 \text{ mm}$ 以上、接地抵抗 100Ω 以下)

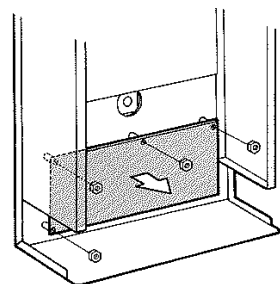
平衡トランスの取付方法

図1



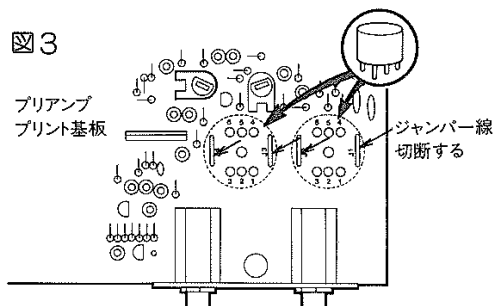
①シャーシ底部のビス3本をはずし、蓄電池シャーシを取りはずします。(図1)

図2



- ②プリアンププリント基板を取りはずします。
- 上部3カ所のナットと左下部のナットをはずしてください。下方右側の2個のジャックの間にあるビスを取りますと、基板が取りはずせます。(図2)
- プリント基板に差込まれている各コネクタははずさなくとも平衡トランスは取付けられます。

図3

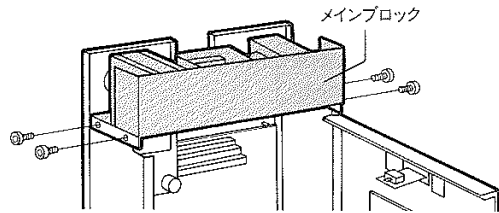


③プリント基板の番号と平衡トランスのピン番号を合わせて差込み、基板裏側よりハンダ付をします。(図3)

④左右にあるジャンパー線を切断します。(図3)

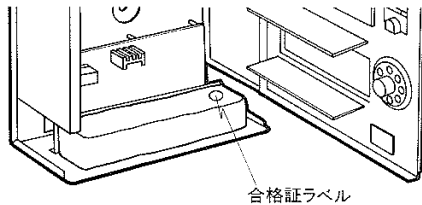
⑤プリント基板をもとどおり取付け、蓄電池シャーシも取付けます。

メインブロックの取付



- ①メインブロックをもとどおりにのせ、左右各2本のビスで固定します。
- ②5個のコネクターをもとどおり確実に差し込みます。

蓄電池の取付



- 本機からでている蓄電池接続コードに蓄電池を接続します。
- 矢印のように蓄電池の合格証ラベルを上側にして格納します。

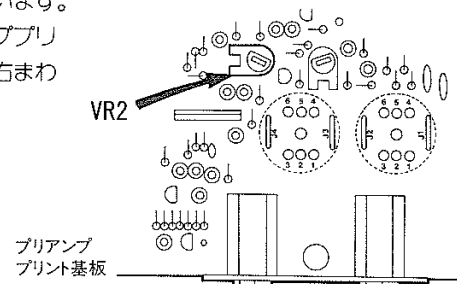
品 番	DEA-0605	DEA-0305
蓄 電 池	NBT-1800	NBT-1200

すべての配線、取付が終了しましたら、本機をもとの状態にもどしてください。

- ①操作パネルをもとにもどし、ビスで固定します。
- ②カバー底部を少し持ち上げるようにして上部より差し込み、底部を2本のビスで止めます。

設置時の点検

- ①充電中表示灯が点灯していますか？
- ②主回路電源電圧計の指針が緑色の範囲を指していますか？
- ③業務電源スイッチを押して電源を入れてください。
- ④業務電源表示灯が点灯していますか？
- ⑤一斉放送スイッチを押してください。一斉表示灯が橙に点灯し、かつ作動表示灯の緑が5個点灯していますか？
- ⑥非常放送マイクで放送し、全部のスピーカが鳴っていることを確認してください。
- ⑦非常マイクの音量は約半分の音量にセットされています。
テスト放送後、音量を調節されるときはプリアンププリント基板の VR2 の調節器で調節してください。右まわりで大きくなります。



非常放送の点検

- ①非常起動スイッチを押し、サイレンが鳴ることを確認してください。
- ②非常放送マイクのトークスイッチを押せばサイレン音は止まりますか？
自火報と接続されている場合は自火報のベルも止まりますか？（自火報より起動した場合）
- ③トークスイッチを押し続けて放送をしてください。
- ④テスト放送が終われば、再び非常起動スイッチを押してください。
サイレン音は止まりましたか？
（自火報と接続されている場合は再びベルが鳴ります。自火報側でベルを止めてください。）

その他の点検

- ①放送中に短絡表示灯5個のいずれも赤に点灯しませんか？
もし点灯すれば、その回線に異常(短絡)があります。点検してください。
- ②外部マイクを使用時に出力表示灯の赤が常時、点灯しませんか？
常に点灯するようであれば出力オーバーです。外部マイク音量調節ツマミで音量を下げ、適正出力の緑点灯内にしてください。
ライン入力に接続された機器、オプションの組込みユニットの音量も同じです。

蓄電池の点検

- ①蓄電池点検スイッチを押してください。主回路電源電圧計の指針が緑色を指していますか？
(蓄電池の充電時間は放電終止電圧からの場合で48時間です。蓄電池で10分間サイレン音放送をおこなった場合、完全充電に48時間かかります。)
- ②常に充電表示灯が緑に点灯していますか？

蓄電池の交換について

DEA-0605(60W)用の蓄電池はNBT-1800です
DEA-0305(30W)用の蓄電池はNBT-1200です

- 蓄電池の交換は危険ですから、保守点検者のかたがおこなってください。
- 蓄電池は非常放送されなくても、寿命があります。蓄電池の寿命はDEA-0605、DEA-0305用とも4年間です。それ以前でも定期点検の際に容量不足があれば、新品と交換してください。
非常時に機器を正しく動作させるために交換時期を厳守してください。
- 蓄電池は上記の品番以外の蓄電池を使用することは充電電流の違いなどから過充電などの危険な状態になりますので絶対に使用しないでください。
- 蓄電池の交換時にはAC電源を切らないでください。
- 交換した古い蓄電池はショートしたり、火中に投げたりすると危険です。また屋外に放置したり、内容物を露出させると危険ですから絶対にしないでください。

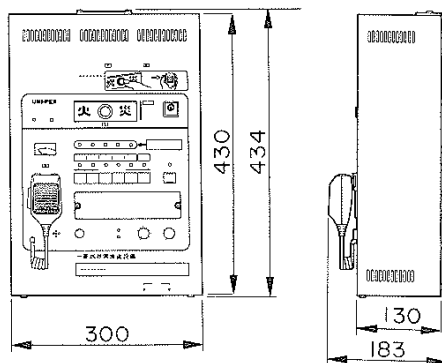
保守点検について

一斉式非常放送設備の保守は、消防設備士(第4類甲、乙、第7類乙)
または第2種消防設備点検資格者でなければ行なえませんのでご注意ください。

定格

	DEA-0605	DEA-0305
使用電源	AC 100V 50/60Hz DC 24V (停電時且つ非常放送時)	
消費電力	AC 157W DC 117W	AC 83W DC 69W
消費電流	AC 1.87A DC 4.5A	AC 0.9A DC2.4A
出力	定格 60W 最大 100W	定格 30W 最大 50W
出力負荷インピーダンス	170Ω (100V ライン) 平衡	330Ω (100V ライン) 平衡
ひずみ率	2%	
周波数特性	50Hz～15kHz 偏差±3dB (ライン入力において)	
入力感度及びインピーダンス	マイク：－62dBV 600Ω 不平衡(平衡トランス取付可)音量調節器付 ライン：－22dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付 リモコン：－2dBV 600Ω 不平衡(平衡トランス取付可)レベル半固定内蔵 ユニット：－22dBV 10kΩ 不平衡	
信号対雑音比	60dB (組込ユニットを除く)	
非常用操作部及び出力制御部		
動作表示	回線別表示：発光ダイオード 緑 一斉表示：発光ダイオード 橙 短絡表示：発光ダイオード 赤 出力定格内表示：発光ダイオード 緑 出力定格以上表示：発光ダイオード 赤 充電中表示：発光ダイオード 緑 電源電圧：メータ 火災灯：発光ダイオード 赤	
警報音周波数	400Hz～1000Hz 周期5秒 (非常用放送設備委員会標準音)	
非常放送マイク	非常/業務兼用入力感度 －46dBV インピーダンス 600Ω 不平衡 ALC付	
出力制御	業務：5回線 + 一斉 (手動) 非常：一斉 自火報連動：一斉	
外部制御	非常起動入力：(メイク接点受信) ……自火報 電源起動入力：(メイク接点受信) ……電源入、一斉制御 非常接点：(常時 DC24V 100mA送り、非常時断) ……ローカル制御 E B 接点：(無電圧メイク接点 1A) ……自火報地区ベル断	
モニタスピーカ	6.5cm パーマネントダイナミック型 アッテネータ付	
非常電源部		
蓄電池	三洋電機機製 円筒密閉形 ニッケル・カドミウム蓄電池 20N-1800C ユニベックス品番 NBT-1800	三洋電機機製 円筒密閉形 ニッケル・カドミウム蓄電池 20N-1200SC ユニベックス品番 NBT-1200
容量	DC 24V 1800mAh/5HR	DC 24V 1200mAh/5HR
持続時間	定格出力時 10分以上	
充電方式	トリクル充電	
充電時間	48時間	
充電電流	約60mA	約40mA
使用温度範囲	－10℃ ～ ＋40℃	
寸法	幅 300mm 高さ 430mm 奥行 130mm (突起物を除く)	
重量	約 11.7kg (蓄電池を除く)	約 10.2kg (蓄電池を除く)
付属品	ヒューズ 0.5A 2	ヒューズ0.2A 2
適合ユニット	2極大形単頭プラグ 1、回線表示紙 1、保証書 1、取扱説明書 1、操作説明書 1、工事説明書 1、取付用型紙 1 AMラジオチューナユニット AM/FMラジオチューナユニット オートリバースカセットプレーヤユニット	

外観寸法図



製造元 日本電音株式会社
 発売元 ユニベックス株式会社

RKTDEA/K